

EPSON OPOS ADK

インストールガイド

Version 3.00 Sep. 2024

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) このソフトウェアは指定された装置以外には使用できません。
- (5) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

商標

Microsoft®、Windows®、Windows Server®は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

IBM® および PC/AT® は、米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。

EPSON® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

ESC/POS® は、セイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Bluetooth および Bluetooth ロゴは、米国 Bluetooth SIG, Inc. の商標です。

引用している会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。

Contents

第1章 はじめに	1
第2章 注意事項	2
第3章 インストーラー同梱物について	3
3.1 Samples.zipについて	3
3.2 Documantation.zipについて	4
3.3 TMFLogo.zipについて	4
第4章 インストール	5
4.1 セットアップの設定	5
4.2 OPOSのインストール開始	6
4.3 使用許諾契約	7
4.4 インストール構成の選択	8
4.5 インストール前の確認	エラー! ブックマークが定義されていません。
第5章 アンインストール	10
5.1 アンインストールの開始	10
5.2 アンインストールの実行	10
5.3 Electronic Journal で作成されたファイル	10
第6章 サイレントインストールとサイレントアンインストール	11
6.1 サイレントインストールの実行	11
6.2 サイレントアンインストールの実行	11
第7章 コピーインストール	12
7.1 メインPCの設定情報を取得	12
7.2 ターゲットPCに設定情報を反映	12
7.3 コピーインストールを行う際の制限事項	エラー! ブックマークが定義されていませ ん。

第1章 はじめに

EPSON OPOS ADK をインストールするにあたり、以下のようなハードウェア、およびソフトウェア構成が必要です。

- コンピュータ本体

- IBM PC/AT 互換機

- CPU やメモリなどのパソコンの動作については、各オペレーティングシステムの推奨値に従ってください。

- オペレーティングシステム

- リリースノートを参照してください。

第2章 注意事項

1. 既に OPOS 2.80 以前がインストールされていたら、OPOS 3.00 をインストールする前に、アンインストールして下さい。
2. OPOS ドライバーをインストールした後に、プリンターを接続してください。
3. Epson OPOS ADK は、デバイスカテゴリ別にサンプルプログラムを提供しています。サンプルプログラムは、Epson OPOS ADK を初めてお使いいただく方と対象としています。
VisualBasic 版では、機能ごと各 Step に分かれてプロジェクトファイルを用意しています。
また、これらのサンプルプログラムは、弊社が推奨する OPOS API の使用方法、各種エラー処理を実装しております。

詳細につきましては、**EPSON_OPOS_ADK_V3.00JR[xx].exe** と同一階層に存在する、**[Sample.zip]**の中身をご確認ください。

4. Epson OPOS ADK は、アプリケーション開発ガイドを含む各種マニュアルを提供しています。
各機種固有の設定値、機能詳細等が記載されています。アプリケーション開発を行う際にお役立てください。
詳細につきましては、**EPSON_OPOS_ADK_V3.00JR[xx].exe** と同一階層に存在する、**[Documentation.zip]**の中身をご確認ください。

第3章 インストーラー同梱物について

3.1 Samples.zip について

この zip ファイルには、EPSON OPOS ADK がサポートするデバイスカテゴリ毎のサンプルプログラムが格納されています。

このサンプルプログラムは、EPSON OPOS ADK を始めてご利用いただく方を対象としたものとなり、開発言語ごとに「Visual Basic 版」、「Visual C++版」の 2 種を用意しています。

また、サンプルプログラムは、Visual Studio 2019 を使用して作成を行っております。

【注意】

全てのサンプルプログラムでは、Open メソッド実行時に使用する、論理デバイス名は"Unit1"を使用しています。

サンプルプログラムを実行する前に、SetupPOS を使用して適切なデバイスに「論理デバイス名 : Unit1」を登録してください。

各サンプルプログラムの詳細は、「Samples.zip」展開後の「index.htm」をご参照ください。

Visual Basic 版

ステップごとにサンプルプログラムが用意され、順に実行することで基本的な機能を一通り学習することが可能です。

また、Visual Basic 版では、特定業種向けのサンプルプログラムを用意しています。必要に応じてご確認ください。

Visual Basic 版におきましては、HTML ファイルからご利用いただくことを推奨しております。HTML ファイルは、「Samples.zip」展開後の「~\Sample\VB\index.htm」を起動してください。

Visual C++版

POSPrinter, LineDisplay 以外のカテゴリのサンプルプログラムは、Visual Basic 版の Step が一番高いものと同仕様で作成されています。

ヘッダファイル

サンプルプログラムの動作に必要なヘッダファイルは、「Samples.zip」内の「Include」フォルダに格納されています。

サンプルプログラムは、このフォルダを参照するように作成しています。サンプルプログラムフォルダのコピー等を行う際は、あわせてコピーしてください。

「EPSON~」から始まるヘッダファイルは、EPSON 独自機能の DirectIO パラメータの定義や、ResultCodeExtended の定義等が含まれています。

詳細は、「アプリケーション開発ガイド」をご確認ください。

3.2 Documentation.zip について

この zip ファイルには、EPSON OPOS ADK がサポートするデバイスの機種別マニュアルや、カテゴリ固有の機能説明を行うマニュアルが格納されています。

展開後のフォルダ内に存在する「index.htm」を開き、使用する機材・カテゴリのマニュアルをご確認ください。

3.3 TMFLogo.zip について

この zip ファイルには、「TMFLogo」と呼ばれる、EPSON OPOS ADK がサポートするデバイスで、機種個別の Utility を持たない機種に対して、NV ビットイメージ領域上に、ロゴデータの書き込み、およびテスト印字、表示を行うユーティリティが格納されています。

展開後のフォルダ内に存在する「installTMFLogo.bat」を管理者権限で実行することで、以下のフォルダにコピーが行われます。

32bit OS : 「C:\Program Files\OPOS\Epson3」

64bit OS : 「C:\Program Files (x86)\OPOS\Epson3」

上記フォルダ内の「TMFLogo.exe」を実行することで、各種操作が行えます。

もしくは、スタートメニューから SetupPOS を起動し、登録時もしくは、登録済みデバイスの「デバイス固有の設定」 - 「Bitmap」 - 「TMFLogo...」を実行することでも起動が行えます。

第4章 インストール

4.1 セットアップの設定

“インストール”ボタンを選択後、管理者権限に昇格してインストールを続行してください。



4.2 OPOS のインストール開始

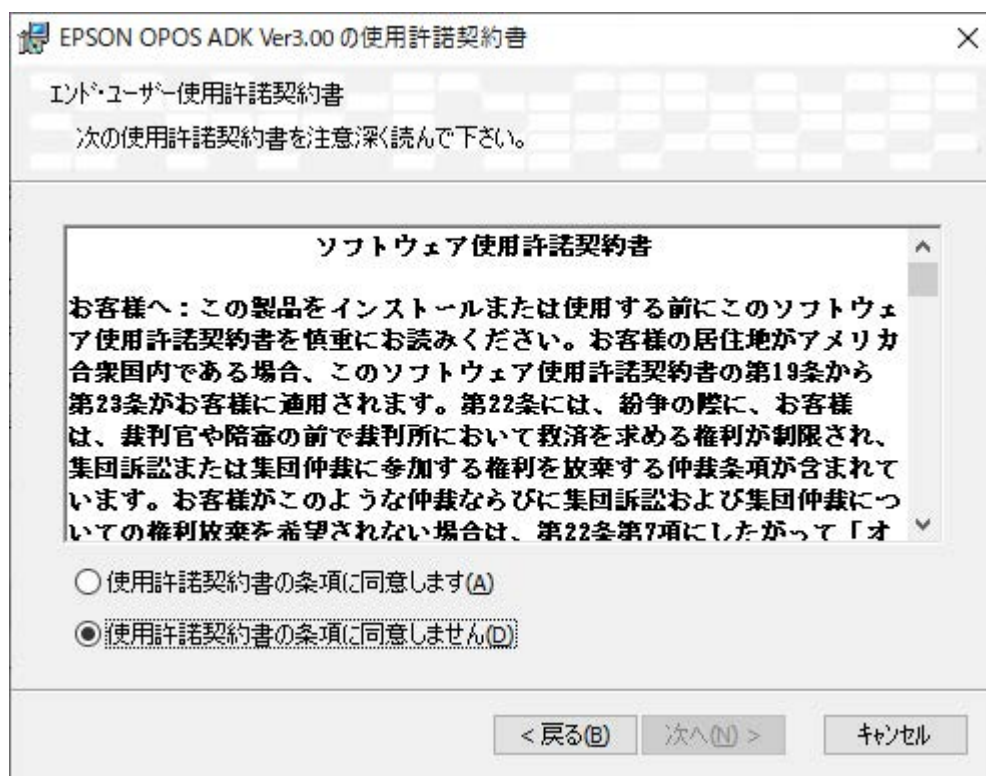
以下の OPOS ADK のセットアップウィザードで、“次へ”ボタンを押してインストールを進めてください。



4.3 使用許諾契約

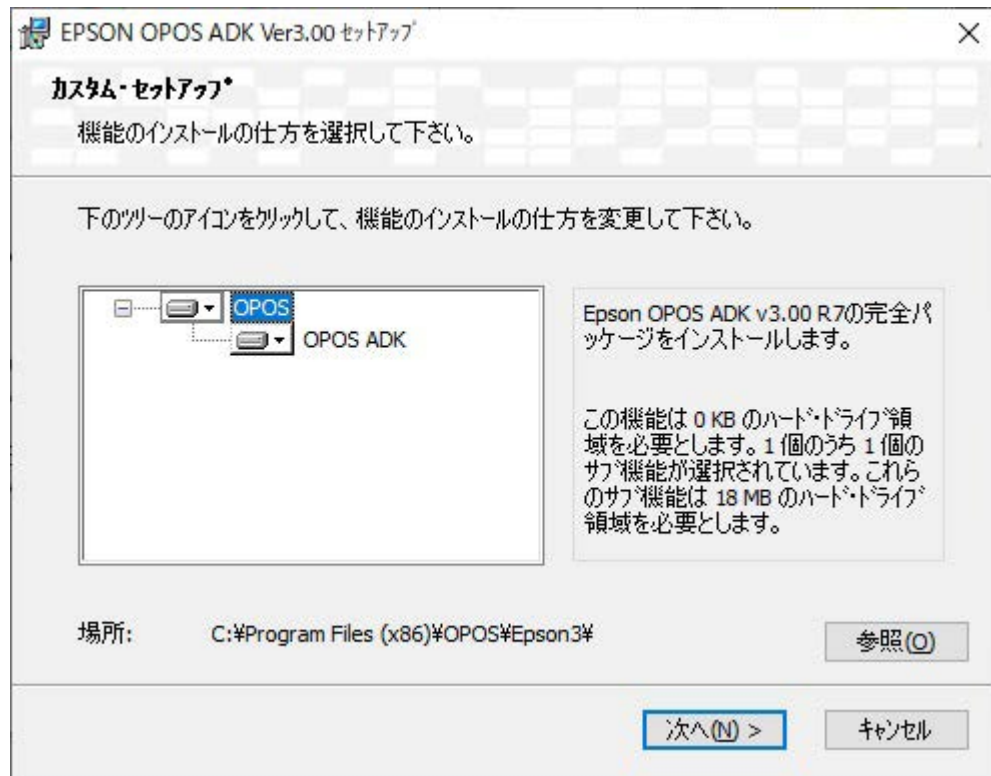
インストールを進める為には、使用許諾の同意が必要になります。“仕様許諾契約書の条項に同意します”を選択し、“次へ”ボタンを押してください。

もし“仕様許諾契約書の条項に同意します”を選択しなかった場合は、インストールすることが出来ません。



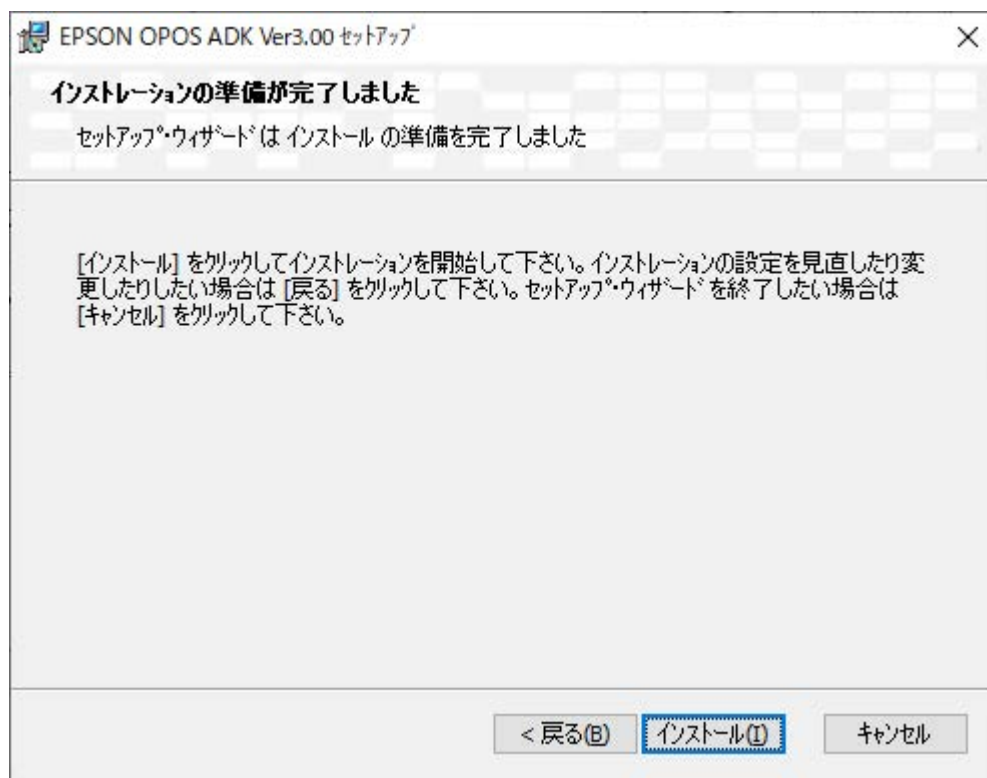
4.4 インストール構成の選択

インストール構成を確認し、“次へ”ボタンでインストールを進めてください。必ず“OPOS ADK”をインストールして下さい。



4.5 インストール前の確認

以下の画面は、インストール前の最終確認です。設定項目が正しければ、“インストール”ボタンを押して、インストールを進めてください。



第5章 アンインストール

5.1 アンインストールの開始

コントロールパネルの”プログラムのアンインストールまたは変更”から、EPSON OPOS ADK 3.00をアンインストールしてください。

5.2 アンインストールの実行

“アンインストール”ボタンを押して、アンインストールを実行してください。



5.3 Electronic Journal で作成されたファイル

Electronic Journal で作成されたファイルは、アンインストールで削除されません。もし作成されたファイルを削除する場合は、手動で削除してください。

第6章 サイレントインストールとサイレントアンインストール

6.1 サイレントインストールの実行

コマンドプロンプトで、以下のコマンドを実行してください。

例)

```
EPSON_OPOS_V3.00JR7.exe /q InstallDirx86="C:\Program Files (x86)\OPOS\EPSON3"
```

6.2 サイレントアンインストールの実行

コマンドプロンプトで、以下のコマンドを実行してください。

例)

```
EPSON_OPOS_V3.00JR7.exe /uninstall /quiet
```

第7章 コピーインストール

EPSON OPOS ADK では、いずれかの PC で作成した環境を別の PC へ展開を行うコピーインストール機能をサポートしています。

以降、コピー元 PC を「メイン PC」、コピー先 PC を「ターゲット PC」と称します。

7.1 メイン PC の設定情報を取得

- ① メイン PC に EPSON OPOS ADK をインストール後、SetupPOS ユーティリティを使用して、各種情報やデバイスの設定を行います。
- ② コマンドプロンプトを Administrator 権限で起動し、EPSON OPOS ADK のインストール先に移動します。
- ③ 情報取得を行うバッチファイル(CollectCopyInstallModules.bat)を実行します。
このファイルは、EPSON OPOS ADK のインストール先と同じ階層に存在します。
例) “C:¥Program Files¥OPOS¥Epson3¥CollectCopyInstallModules.bat”
バッチファイルを実行すると、同一階層に[EpsonCopyInstallModules]フォルダが作成され、以下の情報が格納されます。
 - ・ SetupPOS ユーティリティで登録を行ったレジストリ情報(OPOS.reg)
 - ・ ポート情報ファイル(pcs.properties)
- ④ ターゲット PC に③で作成したファイルを移動させます。

7.2 ターゲット PC に設定情報を反映

- ① ターゲット PC に EPSON OPOS ADK をインストールします。
- ② 取得したファイルに対して以下の操作を実行します。
 - ・ <(システムドライブ):¥ProgramData¥EPSON¥portcommunicationservice>にポート情報ファイル(pcs.properties)を移動します。
 - ・ コマンドプロンプトを Administrator 権限で起動し、レジストリ情報ファイル(OPOS.reg)を実行します。
 - ・ 表示されるダイアログの内容を確認後、「はい」を選択します。
- ③ 使用する機材の電源を入れた状態で接続し、SetupPOS ユーティリティを起動してメイン PC で行った設定情報が反映されていることを確認します。

7.3 コピーインストールを行う際の制限事項

- メイン PC とターゲット PC の EPSON OPOS ADK のバージョンが完全に一致している場合のみ、コピーインストールをサポートします。

	メイン PC	ターゲット PC	結果
例 1	Version 2.80 JR12	Version 3.00 JR7	非サポート
例 2	Version 3.00 JR5	Version 3.00 JR7	非サポート
例 3	Version 3.00 JR7	Version 3.00 ER7	非サポート
例 4	Version 3.00 ER7	Version 3.00 JR7	非サポート
例 5	Version 3.00 JR7	Version 3.00 JR7	サポート

- 下記のような環境の違いがある場合、コピーインストール機能を使用することはできません。
 - メイン PC とターゲット PC のシステムドライブが異なっている場合
(例：メイン PC が C ドライブ、ターゲット PC が D ドライブ)
 - 物理ポートの構成が異なる場合
(例：メイン PC が COM1, COM2 を持ち、ターゲット PC が COM1 のみを持つ)
 - OS が異なる場合
(例：メイン PC が 32bit OS、ターゲット PC が 64bit OS)
- コピーインストール機能を使用する場合、EPSON OPOS ADK を使用するすべてのアプリケーションを終了させてから行ってください。
- コピーインストールの情報取得、反映の手順を実行する際は、PC に EPSON デバイスの接続は行わないでください。